

平成29年度 教育目標別重点及び努力点

- (1) 児童への肯定的な関わりを通じた自己有用感の醸成と夢・希望の育成
- (2) 「学ぶ力」と「学び合い」を育む学習指導の改善
- (3) 全教育活動を通じた、たくましい心と体作りの推進

(1) 「心ゆたかな子ども」の育成

重 点	努 力 点 と 具 体 策
<p>☆児童への肯定的な関わりを通じた自己有用感と夢・希望の育成</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><自己有用感の育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さが分かる ・友達の良さが分かる ・夢や希望を持てる </div>	<p>◎一人一人を大切にした学年学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の人権を尊重し、存在感があり、良さを認め合える学年学級経営計画を立案し実践する。 ・自己有用感や自己肯定感を味わうことのできる学級活動を工夫する。 ・家庭訪問や個人面談、連絡帳等を活用して、保護者との連携図り、信頼関係の構築に努める。 ・教育相談の計画的実施、TTや交換授業等での情報、児童指導連絡会を通して、児童の実態把握に努め、問題には迅速に組織で対応する。 ・学級における特別支援教育及び通級学級指導の充実を図る。 <p>◎全教育活動を通じた道徳教育の推進と「道徳の時間」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態から重点課題を明確にし、学校教育活動と関連づけた道徳教育全体計画を作成する。各学年・学級は実態に応じた価値ある実践を工夫する。 ・各学級における「道徳の時間」（子供たちが道徳的価値を理解し、深く考えることのできる授業）が充実するよう工夫する。 ・学校便りや学年便り、「わたしたちの道徳」の活用等を通して、家庭との連携を図る。 <p>◎異学年交流活動や集会活動、児童会行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班による「ゆうゆうタイム」や児童会行事、学校行事等を通して、望ましい人間関係を構築するとともに思いやりの心やリーダー性を育てる。 ・学年発表集会等を通して、発表し合う楽しさに気付かせるとともに、互いの良さを認め合う心を育てる。 <p>◎感動や成就感を味わう豊かな学校行事や体験活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や体験活動の目標を明確にし、児童が感動や成就感を抱くことができる活動を工夫する。 ・地域団体やボランティア、公共施設等を活用し、様々な人々と触れ合うことの楽しさや地域の良さを実感できるよう工夫する。 ・友達や先生、来客、家の人や地域の人々等、誰に対しても、相手を思いやり、心を込めて明るく元気に挨拶ができるよう指導する。 ・返事、感謝の気持ち、謝罪の気持ち等、相手に自分の気持ちが表せ

	<p>るよう、機会を逃さず指導する。</p> <p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書活動やPTAによる学級文庫の充実により読書の習慣化を進める。 ・図書支援員や保護者ボランティアの支援体制や図書委員会活動により、学校図書館の整備と効果的な活用を図り、読書活動を充実させる。 ・読書ボランティアの「読み語り」や読書週間行事等により読書の楽しさを体験させる。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 「よく考える子ども」の育成

重 点	努 力 点 と 具 体 策
<p>☆「学ぶ力」と「学び合い」を育む学習指導の改善</p> <div data-bbox="145 869 533 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><学ぶ力、学び合いの育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を持つことができる ・友だちの意見を聞いて、自分の考えを深めることができる ・自分の意見を発表し合うことができる。 </div>	<p>◎「学び方」の習得と基礎的・基本的な学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって分かる授業、楽しい授業を目指して、学年で教材研究を進め、ねらいの共有化と指導方法の工夫改善に努める。 ・学年に相応して学習過程と思考を大切にしたいノート作りを指導するとともに、振り返りの方法を工夫して指導に生きる評価に努める。 ・教材開発やICTの活用等を進め、児童の興味・関心を高める工夫をする。 ・情報収集や処理の仕方等を学年に応じて指導し、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・「とちぎの子どもの基礎・基本」を基に朝の学習の時間を有効活用して、基礎的・基本的内容の定着を図る。 <p>◎「学び合い」とアクティブラーニングへの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や資料から必要な情報を読み取ったり、自分の考えをまとめたりする読解力及び学びを深めるための資料活用能力（情報収集・処理等）を育成し、物事を多面的・多角的に吟味し見定めていく力（クリティカル・シンキング）を育む。 ・読書を通して語彙の習得を図るとともに、ノートやレポート作成の方法、話し合いや発表の仕方の技能を習得させ、討論や発表で自分の考えを積極的に表現できる力を育む。 ・学校課題研究において協同的な授業研究（指導案検討会、要請訪問、S&Uコラボ事業）を推進し、学びを保証する「学び合い」を工夫した授業を目指し、児童の思考過程とその見取りを重視した指導方法を研究する。 <p>◎発表や表現する力を高める学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科において児童の思考に基づく表現活動の取り入れ方を工夫し、表現力の向上を図る。 ・短作文指導により自分の考えをまとめる力を育成する。 ・ショートスピーチをテーマ等を工夫して計画的に実施する。 ・学級や学年、異学年間で学習の成果を発表し合う場を工夫する。 ・発表や表現活動に対して賞賛の仕方を工夫し、自分の良さに気付か

	<p>せ、人前でも自信がもてるようにする。</p> <p>○自律的な学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習 4 か条の奨励や「家庭学習の手引き」の活用により、家庭と連携しながら、基本的な学習習慣の定着と、授業と家庭学習との関連を図る。 ・家庭での宿題や自主学習等の提出物には、賞賛と励ましの方法を工夫し、学習意欲を喚起する。 ・スタートカリキュラムの工夫改善を行い、1年生がスムーズに学校の生活や学習に馴染めるようにする。 ・6年生がスムーズに中学校の学習形態に馴染めるよう中学校との連携を図る。 <p>○外国語活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活におけるインプット、モジュールによる外国語活動、環境作り等を工夫する。 ・子供と共に英語を楽しむ授業を目指して、ALTとの打ち合わせ時間の確保や校内研修を実施する。 ・各種研修会への積極的参加を勧め、教員の抵抗感を払拭する。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 「たくましい子ども」の育成

重 点	努 力 点 と 具 体 策
<p>☆全教育活動を通じた、たくましい心と体づくりの推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><たくましい心と体づくりの推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって粘り強く頑張ることができる ・自分の健康や安全について考えられ ・進んで働くことができる </div>	<p>◎目標に向かって粘り強く取り組む心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前後期スタート時には、学年に応じて主体的な目標設定ができるように手立てを工夫する。 ・意欲が持続するような賞賛を工夫したり、児童同士が認め励まし合える場面を設定したりしながら、取り組みの様子を見守り、どの子ども達成感が味わえるようにする。 <p>◎教科体育、体育的行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の体力、運動能力等のデータを基に具体策を立て、運動量の確保と楽しさを保証し、健康の保持増進及び体力の向上を図る授業づくりを行う。 ・学年に応じて頑張りカード等を工夫し、認め励ましながら、一人一人が楽しみながら自分の目標を達成できるよう工夫する。 ・休み時間の外遊びや学年学級、なかよし班での共遊推進、持久走や縄跳びへの意欲付けと業間運動の計画的実施を通して、運動や外遊びの日常化を図る。 <p>◎家庭との連携を図った健康で安全な生活習慣作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の安全管理や安全指導を徹底し、児童が主体的に考え安全に行動できるよう生活態度の育成に努めるとともに、事故や災害等の未然防止に努める。 ・手洗いやうがい、歯磨きの習慣、日常の衛生指導、予防指導等、健康に関する指導が周知徹底できるよう、保健便りや学年便り、学校保健委員会を通して家庭に啓発する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的に配慮を要する児童について、全職員で共通理解し対応を徹底する。 ・安全な登下校の指導を徹底するとともに、地域の実情に応じて徒歩による登下校を推進する。 ・宿泊・遠足的行事や校外学習における安全対策を万全にする。 <p>○キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科・領域、特別活動の指導内容及び異学年交流や地域交流など様々な教育活動をキャリア教育の視点と照らし合わせ全体計画を作成する。 ・学級における係活動や当番活動、奉仕活動等を工夫し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育む。 ・校舎内外の美化活動、奉仕的行事、委員会活動等を工夫し、働くことの大切さや喜びを実感させるとともに、責任感を育む。 ・地域の人々やボランティアの人々との出会う機会を設け、将来への夢や希望を育てる。 <p>○食に関する指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師（栄養教諭）を活用した授業を計画的に実施し、食への意識を高めるとともに、児童を通して家庭への啓発を行う。 ・アレルギーを持つ児童への給食対応を全職員で共通理解し徹底する。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教育課程実施上の具体的方針

基本方針	具体的方針と具体策
(1) 一人一人の良さを認め育てる積極的な児童指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣と規範意識を身に付ける指導を徹底する。 ・南河内中学校区の「生活のきまり」を活用し、共通理解の下、全校体制で指導する。 ・全教育活動を通して、規範意識の育成、善悪の判断や自己の生き方について考えさせる指導に努める。 ○児童と教師、児童相互の好ましい人間関係を醸成する。 ・コミュニケーションスキルを身に付ける活動や友達と関わり合う体験を重視する。 ・各教科や特別活動による集団活動等を通して、認め合い協力し合う中で自己有用感を味わえるような場の設定に努める。 ○児童の内面を共感的に理解できるよう教育相談体制を整える。 ・報告・連絡・相談を密にし、いじめや不登校などの問題行動対策委員会を適宜開催し、組織的かつ迅速な対応を図る。
(2) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援をしていく。 ・コーディネーターを中心に、個別の指導計画に基づいた指導を全校体制で取り組み、個に応じた指導や支援の充実を図る。 ・通常学級の中で行うべき適切な指導や必要な支援について、研修を通

	して理解を深める。
(3) 人権尊重の精神をかん養する人権教育の推進	<p>○教職員一人一人の人権意識を高め、全教育活動を通して人権教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の言動の在り方を見直したり、人権問題の理解を促したりしながら、人権が尊重される雰囲気や環境づくりに努める。 ・各教科等において直接的指導を計画的に実施するなど、人権教育に視点を当てた授業の実践に努める。
(4) 学校間の継続性、系統性ある教育活動の推進	<p>○幼保・小・中間における情報を共有して、連携・一貫教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会、情報交換会などの交流の機会に積極的に参加して、学習や生活状況、指導の方法について理解を深め、児童の指導に生かしていく。
(5) 生き方を考えるキャリア教育の推進	<p>○キャリア教育の視点を踏まえた授業を展開し、自己の生き方や職業・勤労への考えを深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して主体的に活動する力を育成する。 ・横断的、総合的、探求的な学習を通して、郷土、環境や福祉などへの理解と関心を高める。
(6) 情報教育の推進	<p>○児童の発達の段階に応じて情報活用能力を身に付けさせるとともに、情報モラル教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCや図書、新聞等情報手段の活用を各教科等で計画的に実施する。 ・情報モラルに関する指導を各教科等の年計に位置付けて系統的に指導する。
(7) ふるさと学習の推進	<p>○郷土を理解し、郷土を愛する心の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、各教科、総合的な学習等を通して、地域の歴史や文化への理解と住民との連携を深めるふるさと学習を展開し、ふるさとを愛し誇りに思う気持ちの醸成に努める。 ・全教育活動における各学年のふるさと学習の体系化を図り、系統的な学習を展開する。